



新規事業、考えてみませんか？ 最後まで諦めず、粘り強く支援します。

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第46号

平成最後の、あけましておめでとうございます！



新年あけましておめでとうございます！今年もよろしくお願ひ申し上げます。新年に当たって、皆さんも新しい目標を立てていると思います。**僕は目標ではなくて行動方針を決めました。**どんな行動方針かと言えば**「長年に渡って蓄積された良くない『思い込み』を一つずつ解消し、良い『思い込み』を上書きする」**となります。

例えば、僕には「英語が苦手」という思い込みがあります。過去を振り返ると、中学1年の頃、英語は得意科目でした。中間・期末試験でも高得点を取っていて、先生からもお褒めの言葉をいただいたことも有りました。ところが中学2年になってから成績が徐々に下がり始めます。

haveの使い方や意味がだんだんと分からなくなってきたこと(笑)、英語担当の先生との相性が良くなかったことが原因で、少しずつ得意科目から苦手科目に変わっていったのです。そして、その思い込みが時間の経過と共に強化されていきました。

過去に遡って原因を突き止めることができれば、対応策も見えてきます。まずは、得意だった中学1年まで戻って、その範囲から学習をスタート。得意だったことを少しずつ思い出し、良い思い込みを現状に上書きしていきます。中学1年の学習は問題ないと思いますが、中学2年の学習については分かるまで何度も繰り返し、得意という思い込みをさらに上書き。そして、中学3年の学習も同じように続けていきます。

このようなプロセスによって、苦手という思い込みは解消されていき、「英語が得意」という思い込みに変わっていくかなあ～と考えています。しかし、詳細な具体例でしたね～(笑)。このような感じで、僕の中に巣くっている悪い思い込みを一つずつ解消して、良い思い込みを一つずつ増やしていくこと。これが2019年の行動指針になります。では、残り少ない平成の世と、新しい元号の時代を楽しんでいきましょう！

お礼参りと初詣に行ってきました！

2018年12月30日、無事に一年過ごせたことを、地元の門真神社へお礼参りに行ってきました。年末の神社は閑散としていますね。そして、**年が明けた元旦の午前中に初詣に行き、2日と3日、連続して参拝**してきました。今年一年が明るく楽しく面白く過ごせますように祈願してきました。天気が良かったせいか、3日間とも、参拝者が多かったですね。

初詣といえば、おみくじ。早速、運試ししたところ「吉」でした。ゴルフで言えば、イーブンパーみたいな感じですね。これから開運していきますので、これでいいかなあ～と(笑)。ちなみに有名な神社の神主さんがテレビで「おみくじは何回やってもかまわない。大吉がでるまでやってもOK」とコメントされておりました。やや販促的な意味もあるかと思いますが(笑)。皆さん、初詣はどこに参られましたか？そして、おみくじはどうでしたか？

「終生 知的生活の方法」を読みました！



今年最初は、「終生 知的生活の方法」(扶桑社、¥918、渡部昇一著)をご紹介します。大島淳一という人が翻訳した「眠りながら成功する」というベストセラー本があります。有名なジョセフ・マーフィーが書いたものですが、翻訳者の大島淳一さんとは、若い頃の渡部昇一さんなのです。イギリスに留学していた頃、マーフィーの本を読み、翻訳して日本に紹介したいと考えたそうです。ところが、若輩の自分が諸先輩を差し置いて、本を出すといろいろ言われる可能性がある。そう考えた結果、「大島淳一」というペンネームで上梓したらしいのです。

「眠りながら成功する」は読んだことがあります。直訳調の堅い文章で、読み難いという印象が残っています。英語が得意になったら原書で読んでみます(笑)。さて、**今回のご紹介本ですが、すでに鬼籍に入っている著者の最後の著作になります。**いくつか気になるポイントを挙げてみましょう！

1. スポーツではイメージ・トレーニングをするのに、どうして人生においてイメージ・トレーニングをしないのでしょうか。(P20)
2. 知的生活では、生活のあり方が問題になります。知的生活とは、孤独と社交のバランスです。(P48)
3. 雑本のようなもののほうが意外に正直なことを書き、堂々たるもののほうが案外ウソを書いていることがあるという発見をします。(P72)
4. 朝、声を出して本を読むと、ボケ防止になると言われています。脳の活性化の度合いが時間によって違うらしいのですが、朝が一番いいそうです。(P135)
5. お金は遺産で残すより教育という形で残したほうがいいと私は考えています。これは通俗小説のなげない一節がヒントです。ヒントは何も偉い人のごたいそうな本に書いてあるだけではないのです。(P167)
6. 私が知る限りでは、薬の量をなるべく減らそうとする努力が見え、検査値に頼らず、その患者さん自身をきちんと診てくれる医者がいい医者と言えましょう。(P185)

まず1番ですが、著者はマーフィーの著作からイメージ・トレーニングを体得して、学者として成功したと思いますね。確かに人生においてもイメージ・トレーニングしたほうが良いでしょうね。続いて4番、僕のリハビリ体験から効果があると断言できます。今でも文章を作った後、声に出して読んでみます。音読して引っ掛かる部分は、黙読しても引っ掛かりますので、スポーツドリリングのようにのど越しの良い表現に加工・修正します。最後に6番ですが、僕の主治医がこんな感じです。薬はだいぶ減りました(笑)。

この本のどこか一節でも参考にできる部分があると思います。なにせ堂々たる本ではなく、雑本(新書)ですから(笑)。興味がありましたら、本屋さんでページをめくってみてください！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部
〒540-0034 大阪市中央区島町2丁目2番3号 サハム天満橋 402
TEL06-6920-3191 Email: m-okumura@1project-support.com http://www.1project-support.com
FAX06-6920-3192 Copyright 2019 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved

発行人 奥村政治
発行日 2019年1月4日